



ストップウォッチを押した瞬間にツインブレートのクラッチをラフにつなぎ、山頂の駐車場から、オレのセリカXⅩⅠGターボはフル加速した。

20mほどの間に、たちまちフルブースト状態にはいったDOHC4バルブターボは、1速を瞬時に使い果たし、2速、そして3速と、下りのワインディングロードを猛烈な加速のまま、中速コーナーに突入する。

ここ信貴・生駒スカイラインは夜間は無料になるので、走り屋連中がピンピン集まってくる。気合のはいったマシンがタイムを競い合いながら、S字コーナーでのマシンコントロールに夢中になる。

この信貴・生駒スカイラインに入る前の阪奈道路は一方通行のハイスピードコースだが、走り屋連中の人気は、なんてったって、頂上の遊園地横の駐車場から下りのワインディングの速さを競うこと。

オレの1Gターボは、ブーストセッティングを1kg/cm²にセッティングしてある。こいつをフルに使いこなすには、まだまだもう少し時間がかかりそう。2速と3速をすばやく使いながら、複合コーナーを、有効パワーバンドを外さないようにラインを選ぶ。

コーナーリングは、アプローチで姿勢をハッチリきめて、素直にクリアする。ゆっくりとドライブすれば、

景色はグンハツだし、リズムカルにステアリングを切り込んでいけばメチャ気持ちいいんだろうけど、下りのブライントコーナーにターボ加速で突っ込んでいくと、心臓が喉元までせり上がってくる。

こいつを息をのんでこらえ、ブレーキングポイントまで我慢しているのは、何度も、このコースを走り込んだいまでも慣れないからだ。

下りの料金所が見えるまで数え切れないほど心臓をハウンドさせ、アクセルを戻し、ブレーキランプを付けたとき初めて、思わず深呼吸をしている自分に気がついた。バケットシートに押し付けられていた背中が、うつつすらと汗ばんでいる……。

S字を2速でクリアすると、壁にはり付いたマシンがあった。限界を超えるな！ 自分にいきかせながらも、ついアクセルを踏む右足に力が入る！



コーナーを一気に攻める！